

連載  
124

## 仕事について考える

札幌大谷大学社会学部

教授 平岡祥孝

8月の声を聞くと、北海道の短い夏を惜しむ気持ちが強くなってきます。十勝の抜けるような青空と夏雲のコントラストは、いつものことながら絵になるワンシーンですね。

組織と個人の関係は永遠のテーマである、とかく一般的には言われます。自分が属している組織とどのように関わるかは、その人の人生観や価値観が投影される職業人生を映し出すと思います。真剣に仕事に向き合ってきた人ほど、組織の中で制約を受けながら働くことの息苦しさや空しさを実感する場面が多いのではないのでしょうか。

旭川医科大学の学長選挙会議は、14年も君臨した学長の不適切行為を認定しました。当該議長は「独裁的な運営の中で、批判を口に出せなかつた。勇気を持って発言することができなかつたのは自分自身の反省」と釈明していました(『北海道新聞』2021年6月29日)。また、声を上げられなかつた理由として、「異を唱えれば翌週には執行部から解任されるということで、会議で誰も意見を出さないのが当たり前になつて

いた。誰もが勇気がなかつた」という回答でした(『朝日新聞』2021年6月29日)。学問の府であるにもかかわらず、真理を探究する大学人が、疑問を呈する、誤りを正す、正義を貫くなどは、無縁でした。

創業100年の名門企業である三菱電機が鉄道車両向け製品において不正検査を30年以上続けていました。「厳しいタテの関係が支配する会社の雰囲気の中、大きすぎる仕事の負担を減らすように上司に訴えることができず、現場が不正に手を染める状況にまで追い込まれた構図が浮かび上がる」との見方がありました(『読売新聞』2021年7月3日)。三菱電機は上司に物が言えない風通しの悪い企業風土であったことが、白日の下に晒されました。

元外務次官や元検事総長が名を連ねる錚々たる顔ぶれの社外取締役は何をしてきたのか。軽率の誇りを免れないことを承知の上で敢えて言わせていただくならば、監視機能が求められる社外取締役とは名ばかりで、実態は報酬付き名誉職相当かと思つてしまいます。

いつもながらの私の独断と偏見によれば、個人が組織上の問題にどう対応するかは極めて単純であり、それは3つあると考えます。

第1は組織改革を断行することです。不正は正さなければならぬことは自明の理です。それゆえ、信頼

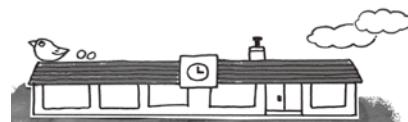
回復のためにも病巣除去と責任追及とともに再発防止に全力を注ぐことは当然です。とはいえ、勇気を持つて不正を告発し、組織改革に身を投じることが出来るか否か。第2は組織に従属し続けることです。保身を考えたならば、打算と忖度が優先して触らぬ神に祟りなしか。健全な心を捨て去り、雉も鳴かざれば撃たれまい、長いものには巻かれろ、という諦観の境地に埋もれて生きる。第3は組織から離脱することです。いくら正論を吐いても相手にされず、逆に返り討ちや報復されることが頻発するならば、優秀な人材ほど学習性無力感から、新天地を求めて自ら職を辞していくでしょう。

もし、自分の属している組織に問題が生じているならば、どれを選択するかは個々の生き方の問題に帰着するのでは。決断するまでに葛藤もあるでしょう。ですが、恥じない生き方をしないと。仕事をするからには、やはり純粋な気持ちで誠実に取り組みたいですね。



【ひらおか・よしゆき】札幌大谷大学社会学部教授。英国の酪農経営ならびに牛乳・乳製品の流通や消費を研究分野としている。高校生・大学生の就職支援やインターンシップ事業に携わってきた経験から、男女共同参画、ワーク・ライフ・バランス、仕事論、生涯教育などのテーマを中心に、講演やメディアでも活躍。

## Tokomuro Lab 通信 vol. 17

浦幌町字常室 51-1  
Tel: 015-578-7580

## 【開校時間】

定休日 火曜・水曜

&lt;ラボ&gt; 10:00-17:00

キッズスペース(無料)やフリースペース、コワーキングスペースをご利用いただけます。校内の見学やイベントの開催のご相談…承ります!

&lt;カフェ&gt; 土曜・日曜

11:30-17:00

(16:30ラストオーダー)

校庭を眺めながら、うらほる食材の美味しいお料理でリフレッシュ。珈琲一杯からお気軽にどうぞ!

こんにちは! 地域おこし協力隊・常室ラボ担当の青木です。

8月は6月に開催予定で延期となっていた「旅する読書会 vol.2」が8月3日に予定されています!

今回の行き先はインド! ということで、札幌のカレー店「payokay」から特別ゲストが◎参加者の方には南インドカレーとチャイを提供させていただきます!

昼の部・夜の部の二部制でそれぞれ定員は7名です。

また、7日(土)と8日(日)のカフェは臨時休業となりますのでご注意ください。

9日の夜は音楽ライブを予定しています! 最近TOKOMURO Labを音楽ライブの会場として使っていただく機会が増えてきました♪ 短い夏を楽しみましょう^^

## 町長室から

現在原稿起草している段階では、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が「まん延防止等重点措置」に移行して、北海道の感染者数は下降していますので、重点措置も北海道は予定通り7月11日で解除されるのではないかと予想されています。

65歳以上の方のワクチン接種は7月4日で予定通り完了することが出来ましたが、一定の割合以上の方が免疫を持つと感染者が出ても他の人に感染しにくくなることで、感染症が流行しなくなり、間接的に免疫を持たない人も感染から守られると言われる「集団免疫」が成立するには新型コロナウイルスの場合70%以上の人とされています。浦幌町では40歳以上の方が接種完了すると71%となりますので、町内での「集団免疫」を獲得するには8月末となります。

しかし、「集団免疫」は北海道全体、日本全体での70%以上接種で初めて終息宣言が見えて来ます。

何より国が責任をもってワクチンを必要とする人に接種できるだ

けの量を早く供給する事ですが、あくまでも自由意志での接種となります。

いずれにしてもまだ、「咳エチケット」「手洗い」「マスク着用」の継続は必要ですので、お願いいたします。

7月2日に一般社団法人ジャパノイノベーションチャレンジ（JIC）と十勝町村会が「夜間搜索サービス連携協定」を締結しました。

山で遭難した場合に夜間に搜索活動が出来ない搜索隊などを支援するため、熱を検出するカメラや照明を積載している無人航空機ドローンで夜間でも上空で撮影した映像を解析して搜索を行うことが出来るという優れたもので、十勝町村会とは3年間の無償提供サービスを実施して、全国での導入に向けた先例としたいとJICは考えているようです。

管内で事例が発生した場合に技術者が駆けつけて対応する事になります。

あつてはならない事ですが、万が一の場合は夜間の搜索活動に心強

いサービスになりそうです。

来年1月での退任を表明されておられます岩手県洋野町の水上町長とは、昨年から新型コロナウイルス感染症のためにお会いできずにおりましたが、6月15日にお久しぶりにウェブ会議でお会い出来ました。

水上信宏町長は大野村と合併して洋野町となる前の種市町（NHKの朝ドラあまちゃんでの舞台になった）の町議会議員を3期務め、その後岩手県議を4期、合併した洋野町長になられて4期務められるという経歴の方ですが、私も様々な点で指導していただきました。

洋野町さんとは両町長杯のパークゴルフ大会や産業まつりでの交流を図るにつれて、町民間の交流も深まり、平成25年に「友好の町絆協定」の締結をご提案した際には喜んでお受けしていただき、さらに東日本大震災を身近で体験された洋野町さんとの「災害時相互応援協定」も締結していただきました。

近年は十勝の太平洋沿岸での大地震と27以上の津波襲来が予想

されており、東日本大震災を経験した洋野町との「災害時相互協定」は浦幌町にとっては大きな支えになると改めて感謝申し上げます。

「十勝活性化期成会」で国への要請活動は新型コロナウイルス感染症のため、今年はできませんでしたが、7月2日に帯広開発建設部・農政事務所・十勝総合振興局へ、7月7日には北海道知事・地方環境事務所・北海道開発局などへ浦幌町の課題を含めて十勝全体の要望について要請活動を行ってまいりました。

東京オリンピックの開催については、無観客での開催などいろいろな議論が戦わされていますが、開催そのものは既定の事実で7月23日に開会式を迎えますが、サッカーの予選が開会式前に北海道で行われますので、道内の観光客も増加する事は目に見えていることから、夏型の交通事故にも十分気を付けていただき、暑い夏を乗り越えていただきますようお願い致します。

浦幌町長 水澤一廣